

第88回 研修医のための実力アップセミナーを開催いたしました

1月14日(水)臨床大講堂にて、研修医のための実力アップセミナーを開催いたしました。

今回は救急シリーズの第3弾として、「胸部救急疾患」をテーマに、卒後研修センターの田畑雅央先生と循環器内科の杉村宏一郎先生にご講演いただきました。

田畑先生からは、呼吸器内科の視点から主に呼吸困難を示す患者さんへの対応について、杉村先生には、心疾患に伴う胸痛について、緊急性の高い疾患を見逃さないポイントなどを分かりやすくご説明いただきました。

田畑先生、杉村先生、また司会をお務めいただきました青木先生、お忙しい中ありがとうございます。



<呼吸困難からみた救急疾患>

講演：卒後研修センター 田畑雅央先生

参加者からのアンケートより ～勉強になったポイントは？～

- ・呼吸困難の鑑別のしかたが分かった。
- ・A-aDO₂について知ることができた。
- ・O₂投与時の手段の選択基準がよく分かった。
- ・胸痛を訴える患者さんが来院した時の対応を具体的にイメージできた。
- ・胸痛をみる上での重要なポイントが分かった。
- ・致死性疾患を見逃さないためには、典型的症状にとらわれないことが大切だということ。



司会の青木先生



<症候としての胸痛とその初期診療>

講演：循環器内科 杉村宏一郎先生

次回は、2月12日(木)に開催します。

テーマ：精神科の救急疾患の対応／
研修医が知っておきたい漢方薬の使い方

講演：精神科 近藤 直洋先生／
漢方内科 高山 真先生

皆様お誘い合わせの上、ご参加ください！